

## 第7回倉敷市総合計画審議会 第1分科会議事録（要旨）

会 議 名 称	第7回 倉敷市総合計画審議会 第1分科会 (子ども・子育て・教育)	
開 催 日 時	令和2年9月25日(金) 10:00～11:25	
開 催 場 所	倉敷市役所 議会棟3階 第2会議室	
出席者 ※敬称 略	審議会 委 員	小川 洋一, 小倉 智美, 佐藤 均, 竹内 京子, 藤原 薫子, 横溝 誠子
	市職員	企画経営室長, 総合計画策定研究班員ほか担当部署職員, 事務局
傍聴者	傍聴者	なし
関係者	関係者	委託事業者
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会</li> <li>2. 倉敷市第七次総合計画（素案作成用資料）について <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基本構想及び基本計画について（報告）</li> <li>(2) 倉敷みらい創生人口ビジョン及び倉敷みらい創生戦略について</li> </ol> </li> <li>3. 今後の予定について</li> <li>4. その他</li> <li>5. 閉会</li> </ol>	

## 1. 開会

### 2(1). 基本構想及び基本計画について (事務局説明)

### 2(2). 倉敷みらい創生人口ビジョン及び倉敷みらい創生戦略について (事務局説明)

#### 質疑応答

分科会長	みらい創生戦略について気になる点や意見を聞きたい。
委員	123 頁, 「高齢人口割合」と「老年人口」の二つの表現があるが, 冊子内で統一すべき。
委員	125 頁, グラフに「倉敷」とあるが, どこまでが倉敷なのか。一般の市民はこの表現でわかるだろうか。
事務局	8 頁では庄地区や茶屋町地区と区別して, 旧倉敷地域を示している。グラフもこれにならって工夫する。
委員	123 頁, 棒グラフと折れ線グラフの色が一致していないので見づらい。例えば, 高齢人口は赤で, 高齢人口割合はオレンジになっている。工夫してほしい。 また, 125 頁, グラフに数値を入れてほしい。ぱっと見て見づらい。
委員	130 頁の人口目標は流域で議論があったうえでの数値なのか。見通しや目標が一桁まであり, 細かすぎて違和感がある。
事務局	高梁川流域成長戦略ビジョンで掲げている数字を掲載している。高梁川流域連携中枢都市圏で話し合っただけの数値なので変更できない。
分科会長	まちづくり指標をみらい創生戦略に再掲するとのことだったが, つながりの説明はあるか。
事務局	3 頁の(3)に「倉敷みらい創生戦略」を組み込み…と示しており, さらに 5 頁(3)で説明している。基本計画においても, わかりやすくするための説明を入れることを検討する。
委員	小学校の授業などで防災教育を取り入れるといった記載があってもよい。
事務局	防災教育の文言は, 75 頁の基本方針の 4 段落目の「自助」「共助」「公助」に大きく含んでいる。
委員	126 頁の下から 4 行目, 小児医療費の無料対象者の拡大については, 県内で倉敷市は遅れているのに, 取組に挙げるのはおかしい。
委員	「国に先駆けて」という枕ことばは, 妊婦検診にかかっているだけで, 小児医療費にはかかっていない。
事務局	確かに県内他市町と比べると遅れているが, 市としては, 結婚・妊娠・出産・子育てに係る支援制度の充実に, 積極的に取り組んでいるので, このまま書かせていただきたい。
委員	総合計画に, なぜ人口ビジョンとみらい創生戦略が入っているのか,

	流れを冒頭で示す必要がある。今のままでは人口ビジョンが浮いているように見える。
委員	5 頁, (2)の☆ (星) や◇ (ひし形) と基本計画の中の記号が一致していないので統一すべき。
事務局	製本時には統一される。今は事務局の技術が足りずうまく統一できていない。 あと、総合計画があって、ビジョンがあって、戦略があるという流れを示すようにする。
委員	少し唐突感があるので、構成図のようなものがあれば、視覚的にわかりやすくなる。
委員	3 頁(3)に文章で説明があるから、5 頁の(2)と(3)の間に構成図があればよい。
委員	あと、人口ビジョンの文言がないので追加してほしい。
委員	42 頁, 児童クラブを「放課後児童クラブ」に統一すべき。
委員	回を重ねるごとに、簡素化されて分かりやすくなっている。文章がよく練られており、事務局の努力の跡が見られる。ありがとうございます。
事務局	まだ現在進行形で、担当部局とやり取りをしながら進めている。最終的にはさらに分かりやすくなるよう努力する。
委員	135 頁, 倉敷結婚相談所を通じた結婚成立数の目標値 150 件は結構な数字である。
事務局	5 箇年累計の数字。年 26 組はかなり頑張っている数字である。 ただ、県が同じ敷地内である倉敷駅の東ビルで同様の取組を始めたため、倉敷の登録者数が減ってきている。今後どうするか課題もある。
委員	現状値も累計の数字にすべき。単年の数字だから比較がしにくくなっている。
事務局	ここは検討する。
委員	156 頁の後は何か付け足されるのか。
事務局	まちづくり指標の算出方法一覧や策定に係る資料等が参考として付け足される。
委員	糸に想いを込めて作っているので、どこかに説明を入れるとよい。縦糸と横糸とが紡がれて…とか。
分科会長	タイトルの糸への漢字の色を変えるということなので、そこでさりげなく想いを示すのもよい。
事務局	文字として残すのがよいか検討する。

### 3. 今後の予定について

4. その他

5. 閉会